

武蔵野北 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 詳説「世界史探究」山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

| | |
|----------------|---|
| 【知識及び技能】 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |

科目 世界史探究 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|--|--|--|---|---|---|----------|
| 1 学 期 | 第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめた りする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、 結果や影響、事象相互の関連などに着目 し、諸地域の歴史的な特質を読み解く観 点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的な特質につ いて、自分が抱いた興味・関心や疑問、 追究してみたいことなどを見出して、見 通しを持って学習に取り組もうとしてい る。 | ・西アジアの身分・階級・王権・宗教に 関する資料から情報を読み取ったりまと めたりする。 ・西アジアにおいて多様な身分・階級が 生まれた背景および宗教と王権の関係に ついて考察する。 | 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめた りする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、 結果や影響、事象相互の関連などに着目 し、諸地域の歴史的な特質を読み解く観 点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的な特質につ いて、自分が抱いた興味・関心や疑問、 追究してみたいことなどを見出して、見 通しを持って学習に取り組もうとしてい る。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 2 古代オリエント文明とその周辺 【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、 そのなかで大河流域のメソポタミアとエ ジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明 化したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資 料をもとに、当時の社会の特徴や世界の 歴史に与えた影響を多面的・多角的に考 察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明について、自分が抱いた 興味・関心や疑問、追究してみたいこと などを見出して、見通しを持って学習に 取り組もうとしている。 | ・自然環境の変化と農耕・牧畜の開始と の関係について考察し、文明誕生の基礎 について理解する。 ・おもな古代文明の立地について考察し 、文明が生まれるために必要だった条件 を理解する。 | 【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、 そのなかで大河流域のメソポタミアとエ ジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明 化したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資 料をもとに、当時の社会の特徴や世界の 歴史に与えた影響を多面的・多角的に考 察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明について、自分が抱いた 興味・関心や疑問、追究してみたいこと などを見出して、見通しを持って学習に 取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 3 南アジア世界の古代文明 【知識及び技能】 南アジアの多様性を生み出した地理的環 境について理解する。南アジア最古の文 明であるインダス文明が栄えた場所の特 徴を理解する。 アーリヤ人の進出が南アジアにもたらした 変化について多面的・多角的に考察し表 現する。 【思考力、判断力、表現力等】 安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を 多面的・多角的に考察し表現する。 | 南アジアの多様性を生み出した地理的環 境について理解する。 南アジア最古の文明であるインダス文明 が栄えた場所の特徴を理解する。 アーリヤ人の進出が南アジアにもたらした 変化について多面的・多角的に考察し表 現する。 | 【知識・技能】 南アジアが南北に大きく二分されること、 それぞれの風土に適合した生活が古くから 営まれていたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ヴァルナ制やジャー ティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会 に富や地位の差が生まれていった背景や 原因を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアの古代文明について、自分が抱 いた興味・関心や疑問、追究してみたい ことなどを見出して、見通しを持って学 習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 16 |

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|----|
| <p>4 中国の古代文明</p> <p>【知識及び技能】 殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。</p> <p>殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。</p> <p>春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。</p> <p>戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。唐の勢力圏の広がりを理解する。</p> | <p>【知識・技能】 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 18 |
| <p>5 南北アメリカ文明</p> <p>【知識及び技能】 北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適應した文化・文明が発展したことを理解している。南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>【知識・技能】 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>第2章 中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>1 中央ユーラシア</p> <p>【知識及び技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。</p> <p>オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識・技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 18 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>2 秦・漢帝国</p> <p>【知識及び技能】 新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。漢の支配体制の変遷を理解する。統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。漢の支配体制の変遷を理解する。統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識及び技能】 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 20 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 2 学 期 | 3 中国の動乱と変容 【知識及び技能】 魏晉南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 魏晉南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 魏晉南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 遊牧民族の動きと魏晉南北朝の動乱との関係について理解する。 魏晉南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 魏晉南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。 ・自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 | 【知識及び技能】 魏晉南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「女史箴図」などの画像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晉南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中国の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 4. 東アジア文化圏の形成 【知識及び技能】 唐の勢力圏の広がりを理解する。唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 唐の勢力圏の広がりを理解する。 唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。 ゾグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。 新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 | 【知識及び技能】 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 壁画などの画像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立 【知識及び技能】 仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「海の道」に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 | 仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。 | 【知識及び技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 【知識及び技能】 グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 魏晉南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 | 【知識及び技能】 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 定期調査 | | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | | |
|-----|-------------|--|--|--|---|---|---|----|
| A72 | 2 学 期 | <p>3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>【知識及び技能】 東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。</p> <p>東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識及び技能】 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | | <p>第4章 西アジアと地中海周辺国家形成</p> <p>1 イラン諸国家の攻防とイラン文明</p> <p>【知識及び技能】 アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</p> <p>パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識及び技能】 アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれのように興亡したのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | <p>2 ギリシア人の都市国家</p> <p>【知識及び技能】 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。</p> <p>ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識及び技能】 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジア・地中海文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | | 20 |
| | | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 2 学 期 | <p>3 ローマと地中海支配</p> <p>【知識及び技能】 ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。</p> <p>「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | <p>ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。</p> <p>「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。</p> <p>ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> | <p>【知識及び技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 23 |

